

## 「山形保健医療研究」編集規定及び執筆規定

平成 年 月 日制定

### 編集規定

1. 本誌は、山形県立保健医療大学（以下「本学」という。）の教員による論文を掲載する機関誌として、年1回発行するものとする。
2. 本誌の執筆者は、本学の教員及び教員の共同研究者とする。
3. 本誌の編集は、本学図書紀要公開講座委員会の責任のもとに行うものとする。
4. 論文は、未公刊のものに限ることとし、内容は、原著、総説、短報等とする。
5. 論文は、図書紀要公開講座委員会において、その掲載の可否を決定するものとする。
6. 一論文あたり別刷50部を執筆者に贈呈するものとし、執筆者の希望によりそれを超える部数については、執筆者の負担とする。
7. 本誌に掲載された論文等の著作権は山形県立保健医療大学に帰属する。ただし、以下の権利は著者の手元に残るものとする。
  - a. 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること。
  - b. 著者が営利を目的とせずに行う複写
  - c. その他、日本の著作権法に反しない利用。

### 執筆規定

1. 論文の長さの制限は原則として設けないが、必要に応じて、図書紀要公開講座委員会において検討する場合がある。原稿はワープロかパソコンを用い、和文はA4用紙に1ページあたり800字程度で印刷すること。英文はA4用紙に300語程度でダブルスペースで印字すること。提出に際しては、オリジナル原稿にコピー2部（写真はオリジナル原稿と同程度であること）および機種名、ソフト名を明記した電子記憶媒体（テキストファイルが望ましい）を必ず添えること。
2. 論文は、表題頁、要旨、本文、文献、図（写真を含む）表から成るものとする。
  - a. 表題頁には論文の種目（例：原著）表題、著者名、所属名、所属所在地を記載すること。
  - b. 和文論文には英文の表題、ローマ字綴りの著者名、英文の所属名、英文の所属所在地をつけること。
  - c. 要旨には200語程度の英文要旨と400字程度の和文要旨の両方をつけること。
3. 英文については熟達した人の英文であるか、その校閲を経ていることを証明できる文書を添付すること。
4. 文章表現は原則として当用漢字を用いて新かなづかいとし、数字は算用数字、度量衡単位は原則として国際単位系（SI）を用いること。
5. 和文論文においては外国人名・地名等の固有名詞以外はなるべく訳語を用い、必要な場合は、初出の際だけ原語を付し、日本語化しているものはカタカナとすること。
6. 図、表は本文とは別にA4の用紙に記載または貼付し、必ず表題をつける。図・表の原稿は白の用紙または淡青色方眼用紙に黒色で描き、写真は鮮明であること。図や表の番号は和文論文では図1、表1、

英文論文では Fig. 1、Table 1 のように記入し、図、表の挿入位置は本文の右欄外に明示すること。

7. 引用文献は、論文の最後に初回引用順に番号を付して一括して掲載し、本文中の引用箇所には肩番号で示し検索可能な記載とすること。

文献記述の形式は、雑誌の場合は著者全員の氏名、題目、雑誌名、巻数、所在頁、発行年を、単行本の場合は、著者名（翻訳者名） 題目、書名（版数） 編集者名、発行地、発行所、所在頁、発行年、の順とする。外国雑誌の略語は原則として Index Medicus （ <http://www.nlm.nih.gov/tsd/serials/lji.html> ） の表記に従う。

#### 文献の記載例

##### 雑誌

- 1) 大西秀明, 池田知純, 八木 了, 赤坂清和, 大山峰生, 百瀬公人, 伊橋光二, 半田康延: 最大等尺性膝屈曲運動時のハムストリングスの筋活動について. 理学療法学, 26 ( 2 ):62-67, 1999.
- 2) Altemani, A. M., Bittencourt, A. L. & Lana, A. M.: Immunohistochemical characterization of the inflammatory infiltrate in placental Chagas' disease: a qualitative and quantitative analysis. Am. J. Trop. Med. Hyg., 62 ( 2 ):319-324, 2000.

##### 単行本

##### 図書一冊を参照する場合

- 1) 本田武司, 飯島義雄: あなたを狙う感染症, 東京, 小学館, 2000.
- 2) McMillan, G. K. : pH Measurement and Control (2nd Edn), North Carolina, Instrument Society of America, 1994.

##### 図書の一部を参照する場合

- 1) 仲村春和: "細胞の文化と多様性". 標準細胞生物学(第1版), 石川春律, 近藤尚武, 柴田洋三郎 編, 東京, 医学書院, pp.244-248, 1999.
- 2) Horton, J. & Ratcliffe, N.: "Evolution of Immunity". In Immunology(5th Edn), Roitt, I., Brostoff, J. & D. Male (Eds), London, Mosby, pp.199-220, 2000.

##### 翻訳された図書の一部を参照する場合

- 1) Horton, J. & Ratcliffe, N. (野間口隆 訳): "免疫系の系統と進化". 免疫学イラストレイテッド(第5版), 多田富雄 監訳, 東京, 南江堂, pp.199-220, 2000.

8. 論文には3 ~ 5項目の日本語および英語のキーワードを付すこと。キーワードは和文抄録および英文抄録に付加すること。

9. 印刷の体裁は図書紀要公開講座委員会に一任すること。